

平和について考えてみませんか

平成 22 年（2010 年）7 月 15 日発行 発行元 京田辺市平和都市推進協議会
京都府京田辺市田辺 80 番地（京田辺市総務部総務室内） TEL0774-64-1337

みんなで
つくろう

非核平和都市宣言

今、世界で核兵器廃絶への動きが高まっています。京田辺市には、市議会で決議された平和都市宣言がありますが、市は、今、市民のみなさんとともに、「非核」を明確にした平和都市宣言を行おうとしています。

宣言文（案）は、市長の依頼を受けて、京田辺市平和都市推進協議会で作ることになりました。

あなたも、このチラシで紹介している企画や行事に参加して、みんなで平和について考えましょう。

平和メッセージ 大募集！！

非核平和都市宣言をつくるにあたって、みなさんのメッセージを参考にさせていただきます。平和について考えていること、平和な世界を目指して私たちにできることなど、なんでもかまいません。どしどしお聞かせください（いただいたメッセージは、広報、ホームページをはじめ平和関連行事で紹介させていただく場合があります。）。

き り と り 線

メッセージ応募方法
←この応募用はがきを
きりとり線で切ってお
使いください（切手不
要）。

応募用はがき又は任意の様
式で、郵送、持参又は電子メ
ールにより 9 月 30 日までに
提出してください。

なお、平和のつどいや平和
展（裏面で案内）でも受け付
けています。

提出先：
〒610-0393
京田辺市田辺80番地
京田辺市平和都市推進協議会
事務局
（市総務部総務室）
E-mail: soumu@kyotanabe.jp

平和の折り鶴のいわれ



折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙の一つですが、今日では平和のシンボルと考えられ、多くの国々で平和を願って折られています。このように折り鶴が平和と結びつけて考えられるようになったのは、昭和20年（1945年）8月6日の広島への原爆投下で被爆し、10年後に白血病で亡くなった少女、佐々木禎子（ささき さだこ）さんが大きくかかわっています。

佐々木禎子さんは、2歳のときに被爆しましたが外傷もなく、その後元気に成長しました。しかし、9年後の小学校6年生の秋に突然、病のきざしが現れ、翌年2月に白血病と診断され広島赤十字病院に入院しました。回復を願って包み紙などで鶴を折り続けましたが、8か月の闘病生活の後、昭和30年（1955年）10月25日に12歳で亡くなりました。

禎子さんの死をきっかけに、広島市の平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成しました。その後この話は世界に広がり、毎年「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から平和を願ってたくさんの折り鶴が捧げられています。

折り鶴を折りながら平和のこと語りませんか！！

き り と り 線

きりとり線
で切って、
折り鶴を折
ろう！！



右上：平和モニュメント「和」
左下：平和都市宣言の碑
右下：平和の塔
※説明は、裏面をご覧ください。

平和の 折り紙



郵便はがき

610-0390

京都府京田辺市田辺80番地
（京田辺市役所内）

京田辺市平和都市推進協議会事務局 行
（総務部総務室内）

※おことわり
チラシの現物には、ここに
料金受取人払郵便の承認の
表示等があります。